

エコアクション21



# 環境経営レポート 2023

(活動期間 2022年10月～2023年 9月)



2023年 11月 28日 発行

辻鐵鋼株式会社

## 【はじめに】

辻鐵鋼株式会社は、鉄鋼を中心とした建材製品、空調部材、防水部材等の開発・製造・販売を行うと共に、亜鉛鉄板を中心とする素材販売を行っている。企業として、全ての事業活動が地球環境問題に関わりがあるとの認識に立ち、環境保全に貢献できる事業活動を推進・継続することが、当社の社会的使命と自覚し、積極的に環境保全に取り組んでおります。全事業所において月次実績を基に定期委員会の開催により、継続的に活動を行っております。

辻鐵鋼株式会社

代表取締役社長 辻 博正

目次	P-1
1-1 事業活動の概要	P-2
1-2 事業活動の概要	P-3
2-1 対象範囲・レポートの対象期間及び発行日	P-3
2-2 EA21推進体制	P-4
3 環境経営方針	P-5
4-1 環境活動実績(過去3年間)	P-6
4-2 環境経営目標 ( <small>全社負荷低減3年計画／事業所別21年度実績・22年度目標</small> )	P-7
5 主な環境経営計画・実績	P-8
6-1 主な取組み活動(本社)	P-9
6-1 主な取組み活動(豊橋)	P-10
6-2 主な取組み活動(仙台)	P-11
7 環境活動実績	P-12
8-1・2・3 環境経営計画の取組結果とその評価(各事業所)	P-13~15
9 環境関連法規への違反・訴訟の有無	P-16
10 代表者による全体の評価と見直し	P-17

# 1-1 事業活動の概要

## (1) 会社概要

事業所名 辻鐵鋼株式会社  
代表者 代表取締役社長 辻 博正  
環境管理最高責任者 生産技術部 池田 潤 [i-ikeda@tsuii-t.co.jp](mailto:i-ikeda@tsuii-t.co.jp)  
環境管理統括事務局

## (2) 所在地

- ①本社 〒130-0001  
東京都墨田区吾妻橋1-16-11  
TEL:03-3624-3611 FAX:03-3624-6267
- ②豊橋工場 〒441-8074  
愛知県豊橋市明海町33-14  
TEL:0532-25-5921 FAX:0532-25-5926
- ③仙台工場 〒981-1523  
宮城県角田市梶賀字高畑北296-2  
TEL:0224-63-4811 FAX:0224-63-4822

## (3) 事業活動 (=エコアクション21認証・登録範囲) 鋼板製住宅部材の加工及び販売

### 素材

- ・ 素材メーカーと連携しお客様ご要望を実現します
- ・ 表面処理鋼板、塗装鋼板、ステンレス鋼板  
アルミ形材、ダクト材料、各種鋼材
- ・ コイル材料、スケッチ材



本社

### 加工

- ・ お客様ご要望【品質・納期・コスト】を実現します
- ・ 屋根部材板金
- ・ ウレタン注入扉(片開き・折戸・引戸)
- ・ エルボ
- ・ 防水部材
- ・ 精密加工品
- ・ プラスチック成形品、加工品
- ・ 各種溶接、R曲げ
- ・ 表面処理(焼付塗装etc)
- ・ アルミ形材加工etc
- ・ 六面体商品



豊橋工場

仙台工場

## 1-2 事業活動の概要

### (4) 環境管理責任者・事務局

	部門最高責任者	管理責任者	事務局
本社	小松 信幸(兼務)		佐竹 千明
豊橋工場	堀 隆太	田中 辰典	藤江 康仁
仙台工場	阿部 幸夫	仙石 和広	横山 伸洋

### (5) 事業規模 売上高・従業員・床面積

	売上高(百万) 2020.10~2021.9	売上高(百万) 2021.10~2022.9	売上高(百万) 2022.10~2023.9	従業員 数 (人)	床面積 (m <sup>2</sup> )
本社	1,174	1,387	1,474	22	697
豊橋工場	321	287	235	18	3,149
仙台工場	279	342	355	24	2,391
合計	1,774	2,016	2,064	64	6,237

### (6) 環境経営レポートの対象範囲(=エコアクション21認証・登録範囲)

取組の対象組織： 辻鐵鋼株式会社(本社、豊橋工場、仙台工場の全組織)

取組の対象活動： 鋼板製住宅部材の加工及び販売

### (7) 環境経営レポートの公表の方法

環境経営レポートを本社・工場に備え付け一般の方へHP公表します。

環境経営方針をカード化し工場全従業員に携帯させています。

## 2-1 対象範囲・レポートの対象期間及び発行日

### (1) 対象範囲

登録組織： 辻鐵鋼株式会社

対象事業所： 辻鐵鋼株式会社 本社  
辻鐵鋼株式会社 豊橋工場  
辻鐵鋼株式会社 仙台工場

### (2) 環境経営レポートの対象期間

2022年 10月 1日 ~ 2023年 9月 30日(弊社事業年度)

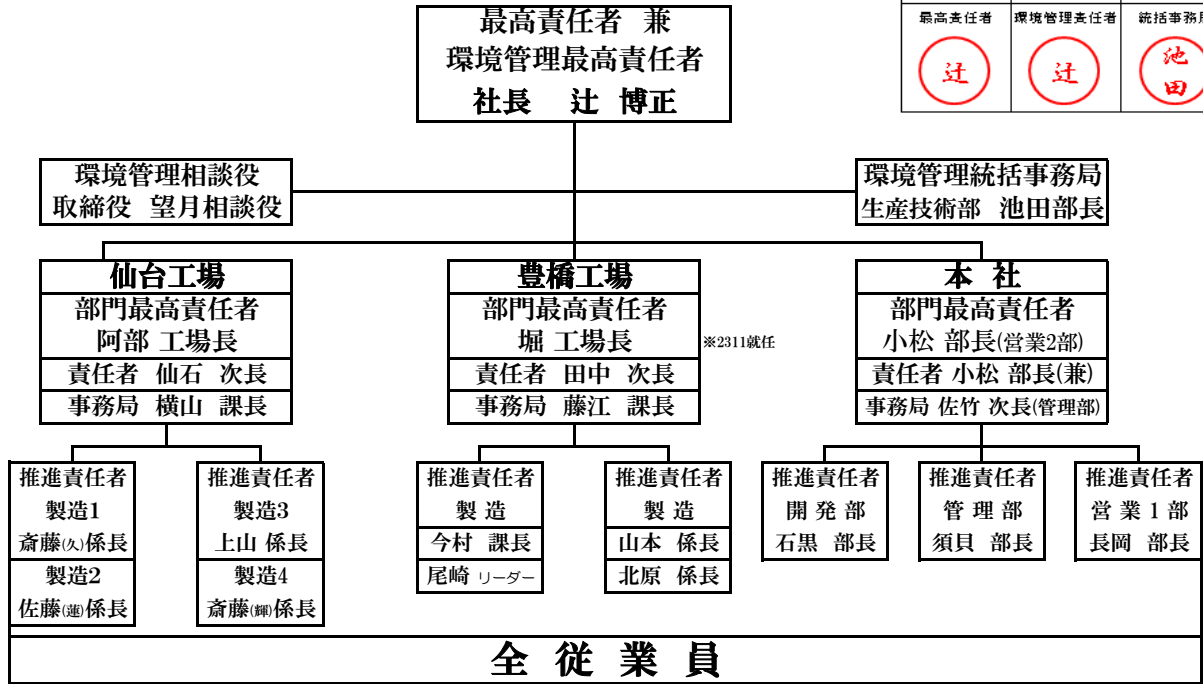
### (3) 発行日

2023年 11月 28日

## 2-2 E A 2 1 推 進 体 制

辻鐵鋼株式会社(全社) 環境管理委員会(運営委員会)組織図

文書類制定日付:2010年 4月 1日		
文書類改訂日付:2023年11月 1日		
承認	確認	作成
最高責任者	環境管理責任者	統括事務局
辻	辻	池田



役割・責任・権限	
最高責任者 兼 環境管理最高責任者 (代表取締役社長)	・環境経営システムの実施及び管理に必要な人、時間、技能者、設備費の用意 ・課題とチャンス明確化 ・環境経営に関する全社の統括責任 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・全体の目標・実施計画の承認及び確認・審査 ・全社の評価と見直しの実施
環境管理相談役 (取締役相談役)	・環境経営に関する助言・指導 ・全社目標の設定承認及び確認・指導 ・全社の評価と見直しの指導
環境管理部門 最高責任者	・環境経営に関する自部門の管理 ・部門目標の設定承認及び確認・審査 ・環境活動の取組み結果を環境管理最高責任者へ報告 ・法規制等要求事項登録簿の承認及び確認・審査 ・部門の評価と見直しの実施 ・環境への取組みの自己チェックの実施
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境活動実施計画書の承認・推進管理及び確認・審査 ・従業員に対する教育訓練の定期実施 ・法規制等要求事項の管理
環境管理統括事務局	・環境経営に関する全社の統括管理 ・環境活動実施計画書の考案 ・環境活動実施状況管理(部門の環境活動に関する書類の収集等) ・環境への負荷の自己チェックの実施 ・法規制等要求事項登録簿の作成
環境管理事務局	・環境活動実施計画の作成・実績集計・記録及び統括事務局への提供 ・運営委員会の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・法規制等の要求事項の届け出等
環境管理推進責任者	・自部署における環境経営システムの実施 ・自部署における環境経営方針の周知 ・自部署の関連する環境経営目標及び環境活動計画の実施及び達成状況報告 ・自部署の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動へ参加

## 3 環境経営方針

### (環境経営理念)

当社は社会の一員として地球環境保全が人類共通の課題であることを認識し、経営の最重点課題に位置付け事業活動の全領域で環境保全に配慮し、さらに良好な環境構築の実現の為に自主的・積極的な行動を図り、環境負荷の削減に取り組むことを誓約し、「美しい環境を次世代へと継承」に貢献します。

### (行動方針)

当社は、事業活動が環境に何かしらの影響を与えていることを認識した上で、金属製品加工に関する製造技術・品質保証技術を踏まえ、特に、以下の環境保全活動を自主的・積極的・継続的に推進します。

1. 事業活動の領域で、安心・安全を図り、特に省資源・省エネルギー・廃棄物削減環境に配慮した事業活動を実施します。
  - (1) 環境への負荷の自己チェックの結果、各々の項目に対する改善(削減)目標管理を実施し、特に、二酸化炭素排出抑制・廃棄物排出抑制・水使用量抑制について改善目標値を設けて目標管理をします。
  - (2) 総物質投入量の把握に努め、その結果として、使用済み資源の循環的な利用(リユース)を推進し、総物質投入量の削減に努めます。
  - (3) 廃棄物最終処分量の削減に努めます。
2. 化学物質の保管・管理に努めます。
3. 品質管理・3S活動を努めます。
4. 環境に関する法令・条例と、当社が参加した協定や地域・業界などの要求事項を遵守します。
5. 得意先・仕入先に対して「省梱包」・「梱包材の再利用」を積極的に提案し推進します。
6. 自ら生産、販売提供する製品において「エコ関連商品」・「リユース素材」の積極的提案を行います。
7. 環境教育・訓練活動の実施により、全ての従業員に環境経営方針を周知すると共に本活動を当社の体質改善活動の一環と位置付け、持続可能な活動を推進します。
8. 環境経営レポートを公表し、環境経営方針を一般方にも入手できることを保証します。

制定日：2008年 4月 3日  
改定日：2009年 10月 1日  
改定日：2010年 3月 1日  
改定日：2011年 4月 1日  
改定日：2015年 3月 31日  
改定日：2018年 4月 1日  
改定日：2019年 12月 2日

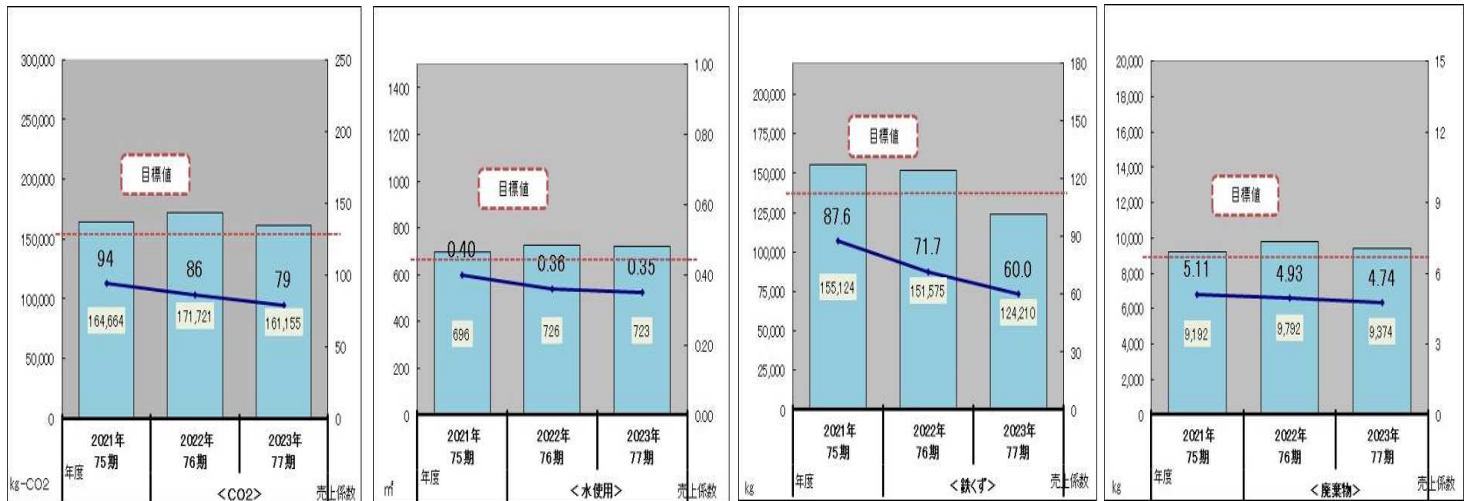
辻鐵鋼株式会社

代表取締役社長 辻 博正

# 4-1 環境活動実績 (過去3年間)

## <全社>

年次			2020年度	2021年度	2022年度
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	158,399	164,664	171,720
水使用量	上水道使用量	m <sup>3</sup>	744	696	732
廃棄物発生量	鉄くず排出量	kg	135,000	155,124	148,692
	廃棄物排出量	kg	9,156	9,192	9,792
	段ボール排出量	kg	3,951	3,948	3,552
化学物質	適正貯蔵量	L	6,000未満良好	6,000未満良好	6,000未満良好



## <本社>

年次			2020年度	2021年度	2022年度
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	43,397	48,252	49,524
水使用量	上水道使用量	m <sup>3</sup>	144	108	96
廃棄物発生量	廃棄物排出量	kg	408	540	696
	段ボール排出量	kg	132	120	228

## <豊橋工場>

二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	41,429	44,952	43,452
水使用量	上水道使用量	m <sup>3</sup>	324	336	408
廃棄物発生量	鉄くず排出量	kg	51,204	63,288	65,700
	廃棄物排出量	kg	5,256	5,064	5,256
	段ボール排出量	kg	1,536	1,008	648

## <仙台工場>

二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	73,573	71,460	78,744
水使用量	上水道使用量	m <sup>3</sup>	276	252	228
廃棄物発生量	鉄くず排出量	kg	83,796	91,836	82,992
	(ウレタンパネル排出量)	kg	10,776	5,700	4,368
	廃棄物排出量	kg	3,492	3,588	3,840
	段ボール排出量	kg	2,280	2,820	2,676
化学物質	適正貯蔵量	L	6,000未満良好	6,000未満良好	6,000未満良好

※温室効果ガス排出係数(環境情報データベース)2018年度調整後排出係数:0.406(本社)・0.334(豊橋)・0.334kg-CO<sub>2</sub>/kWh(仙台)

## 4-2 環境経営目標

### ◆全社環境負荷低減 3年計画

年次目標 (年次)			2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	154,704	151,608	
水使用量	上水道使用量	m <sup>3</sup>	672	648	
廃棄物排出量	鉄くず排出量	kg	138,420	135,648	
	廃棄物排出量	kg	8,952	8,772	
	段ボール排出量	kg	3,816	3,744	
化学物質	適正貯蔵量	L	6,000未満	6,000未満	
エコ関連改善	採用件数	件/年	3	3	

※3年計画は固定式、見直し2年度目：下記との目標差異は各事業所の状況・施策に基づき設定

### ◆事業所別22年度実績・23年度目標

#### <本 社>

( )内前年比

月次			2022年度実績	2023年度目標
二酸化炭素 排出量	購入電力使用量	kWh	2,452	2,403 (98%)
	軽油使用量	L	787	787 (100%)
	ガソリン使用量	L	470	846 (180%)
	ガス使用量	m <sup>3</sup>	4	4 (100%)
	二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	4,127	4,086 (99%)
水使用量	上下水道使用量	m <sup>3</sup>	8	8 (100%)
廃棄物排出量	廃棄物排出量	kg	58	52 (90%)
	段ボール排出量	kg	19	14 (75%)
エコ関連改善	採用件数	件/年	1	1

#### <豊橋工場>

二酸化炭素 排出量	購入電力使用量	kWh	9,024	9,475 (105%)
	軽油使用量	L	116	126 (109%)
	ガソリン使用量	L	112	118 (105%)
	灯油使用量	L	20	—
	二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	3,621	3,802 (105%)
水使用量	上下水道使用量	m <sup>3</sup>	34	—
廃棄物排出量	鉄くず排出量	kg	5,475	5,749 (105%)
	廃棄物排出量	kg	438	460 (105%)
	段ボール排出量	kg	54	57 (105%)
エコ関連改善	採用件数	件/年	1	1

#### <仙台工場>

二酸化炭素 排出量	購入電力使用量	kWh	9,810	9,319 (95%)
	ガソリン使用量	L	6	—
	灯油使用量	L	1,314	1,248 (95%)
	二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	6,562	6,233 (95%)
水使用量	上水道使用量	m <sup>3</sup>	19	17 (90%)
廃棄物排出量	鉄くず排出量	kg	6,916	6,570 (95%)
	(ウレタンパネル排出量)	kg	364	364 (100%)
	廃棄物排出量	kg	320	304 (95%)
	段ボール排出量	kg	223	211 (95%)
化学物質	適正貯蔵量	L	購入管理良好	6,000未満管理
エコ関連改善	採用件数	件/年	1	1

※温室効果ガス排出係数(環境情報データベース)2018年度調整後排出係数:0.406(本社)・0.334(豊橋)・0.334kg-CO<sub>2</sub>/kWh(仙台)



# 5 環境活動計画・実績

文書類作成日: 2022年10月27日  
文書類評価日: 2023年10月17日

承認	確認	作成
(辻)	(辻)	(池田)

2023年度 77期(2022.10~2023.09)

※月次評価日を変更

区分	名称	対象者	目的	内容	部門	頻度	責任者	10月	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	備考				
全般	安全品買取IS	運営委員 +各当番者 管理責任者	安全維持 クレーム・社内不良 EA21活動の継続性維持 IS活動	・パトロール公表 (工場内外・漏水・空調関連) ・前月活動成果の分析	本社	1回/3ヶ月 (会議週)	小松(佐竹)		●			●			●			●						
				・クレーム、社内不良撲滅活動 ・IS、改善、コストダウン活動状況	豊橋工場	1回/月 (3週目)	今野 田中 (藤江)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
				・委員からの意見等ヒアリング ・次年度の活動内容出し	仙台工場	1回/月 (2週目)	阿部 (横山)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
一般教育	勉強会	全従業員	環境・品質・生産性向上 一般的な環境に対する自覚向上 IS発表会による生産性向上	・前年の活動実績公表 ・今年度の活動目標 内容公表 ・生産性向上効果発表	本社 豊橋工場 仙台工場	1回/年 以上	小松・池田 田中・池田 阿部・池田	●			○	●		○	●		○	●						
一般教育	防災訓練	全従業員	緊急事態発生時適切対応	・緊急時マニュアルに基づく訓練 ・防災用具の取り扱い等 ・漏洩訓練	本社 豊橋工場 仙台工場	1回/年	佐竹 田中 阿部	○	●		○	●		○	●									
専門教育	講習会	選任者	安全・技能向上	・クレーン・玉掛け・フォークなど ・環境測定 ・各種研修等	本社 豊橋工場 仙台工場	2回/年 以上	佐竹 田中 阿部		●		○				●									
定期点検	漏水パトロール	事務局	環境維持	・消化施設、各配管、手洗い、トイレ等点検(別点検表)	本社 豊橋工場 仙台工場	1回/月	佐竹 藤江 横山	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
	クレーン 年次検査 月次点検	選任者	安全・法規	・点検チェック(別点検表)	本社 豊橋工場 仙台工場	1回/月	佐藤 藤江 横山	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
	フォークリフト 年次検査 月次点検	選任者	安全・法規	・点検チェック(別点検表)	本社 豊橋工場 仙台工場	1回/月	佐竹 藤江 横山	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	低稼働未			
	プレス自主検査	選任者	安全維持・法規	・機械の安全動作状況確認等	豊橋工場 仙台工場	1回/年	藤江 阿部		●						●									
	空調機器 簡易点検	事務局	環境維持・法規	・点検チェック(別点検表)	本社 豊橋工場 仙台工場	4回/年	佐竹 藤江 横山	●			●			●			●							
	消火設備・消火器 点検	事務局	安全維持・法規	・機能チェック、有効期限確認等	本社 豊橋工場 仙台工場	1回/年 2回/年	佐竹 藤江 阿部		●	○			●		●				■					
	エアータンク 自主検査	事務局	安全維持・法規	・器具の機能維持、安全性確認等	豊橋工場 仙台工場	1回/年	藤江 横山								●			○						
	浄化槽法定検査	事務担当者	衛生維持・法規	・事務所/寮の衛生検査・対応	豊橋工場	1回/年	坂神													●				
	浄化槽保守点検	事務担当者	衛生維持・法規	・事務所/寮の衛生検査・対応	豊橋工場	1回/月	坂神	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
	ボイラー点検	事務局	安全維持	・器具の機能維持、安全性確認等	仙台工場	1回/年	横山													●				
環境測定	事務局	安全衛生維持・法規	・有機溶剤使用箇所の濃度測定	豊橋工場 仙台工場	2回/年	藤江 横山			○				●			○								
届出	労使協定届け 年間カレンダー提出	管理責任者	安全衛生維持・法規	・労働基準内関連書類提出	本社 豊橋工場 仙台工場	1回/年	佐竹 田中 阿部						●											
	産業廃棄物委託 契約更新 (自動更新)	管理責任者	適正管理維持・法規	・適正業者との廃棄物契約締結	本社 豊橋工場 仙台工場	自動更新	佐竹 田中 阿部					■												
	産業廃棄物 管理表届出	事務局	適正管理維持・法規	・昨年度排出量提出	豊橋工場 仙台工場	1回/年	坂神 横山							●		○								
	産廃現地確認	管理責任者	適正管理維持・法規	・契約業者の適正処理確認	豊橋工場 仙台工場	1回/年	田中 阿部							○							中止			
	化学物質使用量届/管理 防災訓練/報告書	事務局 管理責任者	安全衛生維持・法規 安全維持	・昨年度使用量提出/購入量管理 ・訓練報告書作成、提出	仙台工場	1回/年 1回/年	横山 阿部								■									
文書類	活動記録	選任者	ガイドライン要求事項	・環境への負荷の自己チェック (皆さんの成果含)まとめ	本社 豊橋工場 仙台工場	2023年 1回/年	佐竹 藤江 横山	10/10 10/10 10/13																
				・環境への取組の自己チェック	本社 豊橋工場 仙台工場	1回/年	小松 田中 仙石	10/24 10/24 10/24																
				・資源使用量、総製品生産量/販売量算出	本社 豊橋工場 仙台工場	1回/年	長岡*小松 田中 阿部	10/25 10/25 10/25																
				・取組結果とその評価(是正・予防 処置等処理記録簿含む)	本社 豊橋工場 仙台工場	2回/年	小松 今野・田中 阿部・仙石	10/23 4/20 10/18									4/20				4/20			
				・環境コミュニケーション記録簿、 苦情・要望等処理記録票	本社 豊橋工場 仙台工場	1回/年	小松 田中 阿部	10/25 10/25 10/25																
				・法規制等一覧表・チェックリスト	本社 豊橋工場 仙台工場	1回/年	小松・佐竹 田中・藤江 仙石・横山	10/20 10/25 10/25																
				・代表者による全体評価・見直し	本社	1回/年	辻社長	10/25																
				・目標設定書、活動計画作成、等	本社 豊橋工場 仙台工場	1回/年	小松 田中 阿部	10/27 10/30 10/30																
				・活動計画等のまとめ	統括事務局	1回/年	辻社長 池田	10/27 10/30																
				・実施体制(組織図)の見直し	統括事務局	1回/年	池田	10/27																
				・環境方針(マニュアル)見直し	統括事務局	1回/年	池田	10/27																
				・緊急事態の準備及び対応推進	統括事務局	1回/年	池田	10/27																
				・各種技能講習者選出・リスト更新	統括事務局	1回/年	池田	10/27																
				・レポートの作成	統括事務局	1回/年	池田	11/24																
				・各部門の記録書類のチェック	統括事務局	1回/年	池田	1/15																
				・エコアクション21認証 登録審査	本社	1回/年																		

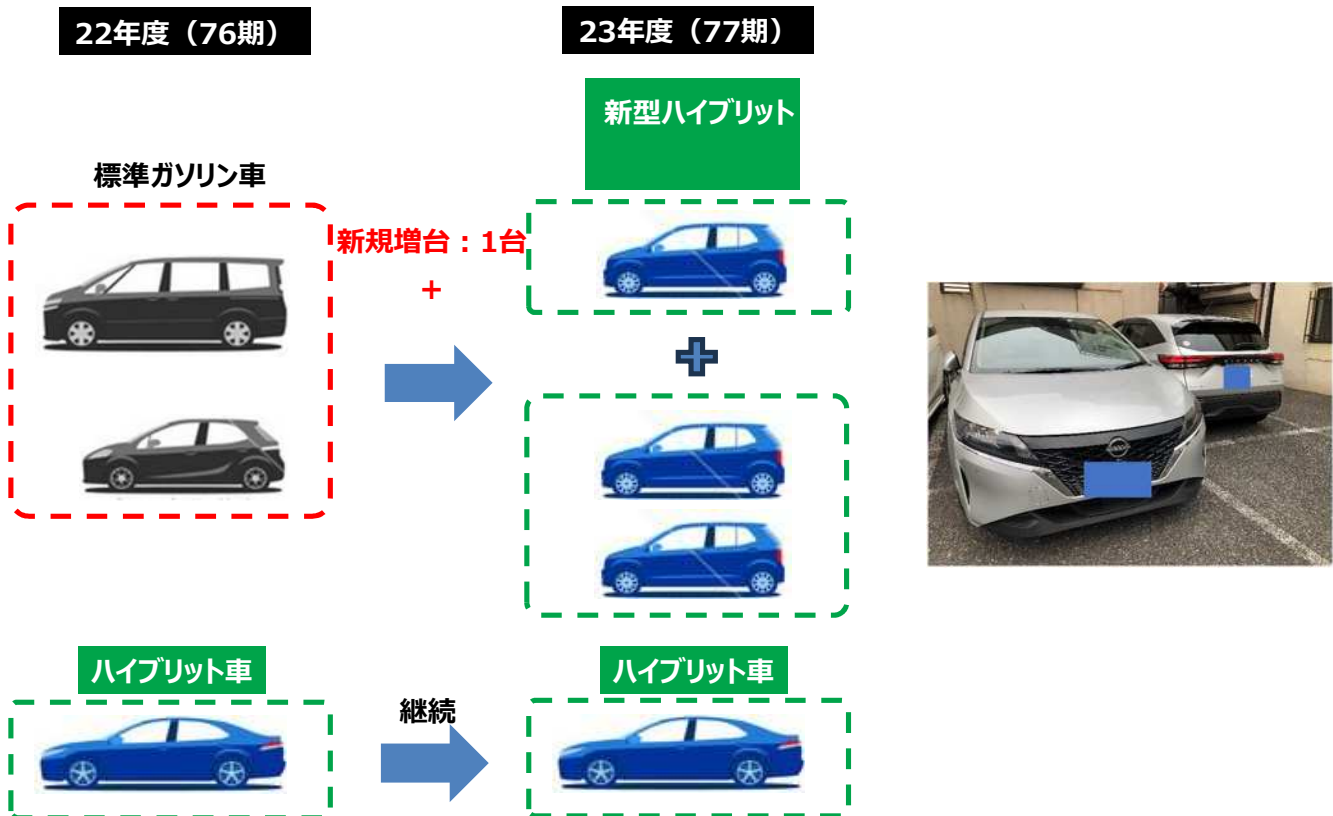
売上確定遅れのため最終10/30とする

保管:運営事務局 ※1 計画:○ 実績:実施月に●を記す(計画通り実施した場合は計画月の○を●に変更する /部は月変更を示す) 自動更新等:■・年次点検等:◆ ※2 完了日付:月/日を記す

## 6-1 主な取組み活動(本社)

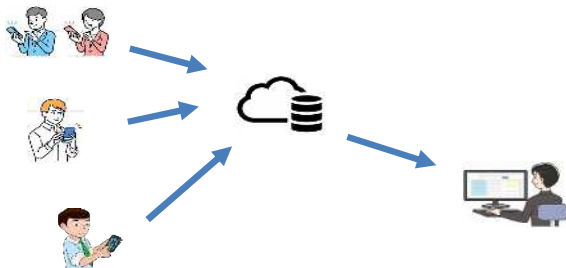
### ○ (環境配慮型) 営業車両の選定・導入

・22年度末(76期)時点で、営業車両として全3台保有。車両寿命等を考慮及び、営業部員増員(2名)を考慮し、23年度(77期)11月に全4台へ保有となり、営業専用車は全て環境配慮型へ切替え実施。



・23年度(77期) 目標設定: 180% → 実績: 112% (22年度: 471ℓ → 23年度\_527ℓ)  
(参考値) 1台当たり給油量 = 22年度: 3台 (157ℓ/台) → 23年度: 4台 (131.8ℓ/台) ▲16.1%  
という結果となり、増台しても1台当たりの給油量は削減となり、(環境配慮型)車両の導入は効果があったと思われます。

### ○ 法令順守について (安全運転管理: 飲酒運転 撲滅活動)



・23年度(77期)3月より 営業に関わる全車両を対象とした〈アルコールチェック〉及び、〈運行管理(運行報告)〉について、クラウドシステムを導入。

## 6-2 主な取組み活動(豊橋)

### ○ 電気使用量削減取組

- ・デマンド監視システムによる管理、起動電力削減施策(10時、3時休憩の設備電源OFFせず)の継続
- ・夏場のエアコンによる電力増対策

昨期から掲示開始したエアコンON基準表の掲示を  
夏場前に再度見方教育して、周知徹底  
エアコンのコントローラー設置個所にも掲示して、日々意識付けを実施



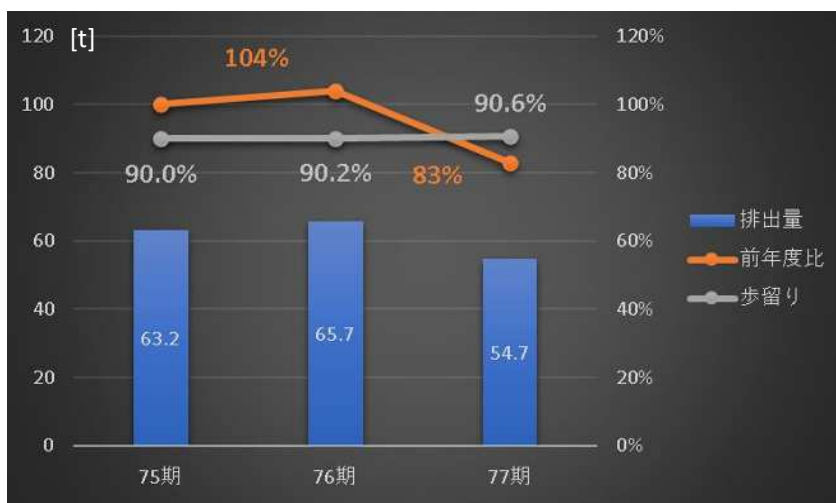
	6月	7月	8月	9月	夏季計	前年比
75期	9,832	15,450	12,717	9,812	47,811	
76期	10,064	12,340	12,302	11,311	46,037	96%
77期	7,606	12,237	12,399	10,633	42,875	93%
前年度比	76%	99%	101%	94%	42,875	

### ○ 鉄くず処分量削減

- ・昨期からの原版コイル幅変更、板取、取り数改善の継続実施
- ・製品仕様変更、新規品追加に対し、スリットするコイル幅の適正化を実施

排出量は仕事量減に伴い、前年度比減

また、新材料のコイルが揃っていない、および、旧材料枯渇で原版から使用 等の悪化要因はあったが  
上述の削減策実施により、歩留りは90.2%⇒90.6%と、0.4pt改善



※ 7月～順次アクリル/フッ素鋼板  
⇒SGL鋼板へ変更  
6月で歩留り92.5%まで改善も  
新材料導入/旧材料消化で  
9月は87.4%まで悪化。  
77期TTLでは90.6%と向上

## 6-3 主な取組み活動(仙台)

### IS活動継続によるエコアクション

例年において仙台工場は、今までの取り組みの継続、新たな取り組みの探究を日々行ってまいりました。そのなかでも、71期より開始したIS活動を継続実施。不良削減を主軸とし生産向上・安全・エコ等も踏まえた改善を行い、PDCAサイクルを回し管理。4工程に分け、各リーダーを中心に工場全体の活動として行ってきました。仙台工場としては、今期も上記活動(使用量・廃棄物削減)によるエコアクションの一環としました。

### 改善事例(製造1工程における歩留まり改善)

#### ○ラミネート作業におけるシートと鋼板のサイズ違いの見直し

改善前 鋼板よりもシート巾が50mm狭い為、鋼板の歩留りが悪かった。

改善 鋼板巾を現状の990サイズから960に変更。

#### 改善効果

月に5 t 使用の場合 材料単価 = 256円で計算			
	月使用量	年間使用量	年間材料費
巾990	5000kg	60t	15,360,000
巾960	4850kg	58.2t	14,899,200
削減効果	-150kg	-1800kg	-460800円

### 改善事例(製造3工程における作業改善)

#### ○注入作業回数と生産数を比較し、より効率的な作業方法へと変更

改善前 生産数減少により、今までの作業方法では作業者に手待ちが発生。

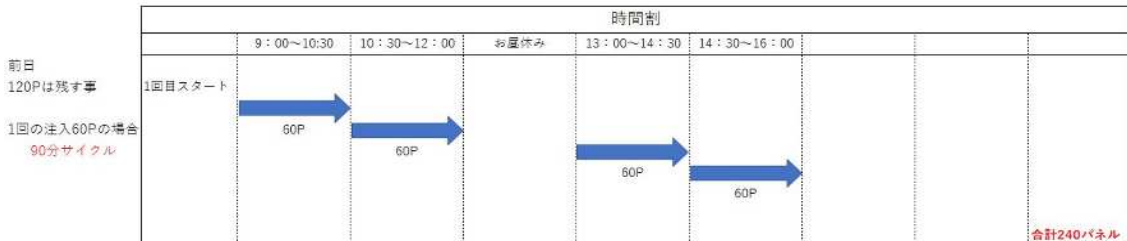
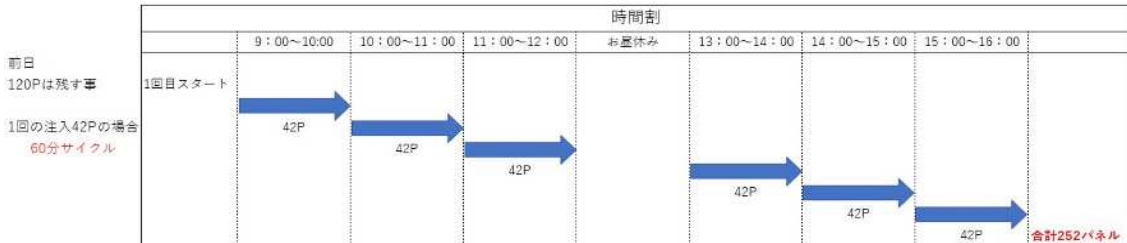
又、生産数が減少しているのに、注入作業回数が以前と変わらないので、エネルギーや使用原料の消費割合は高まってしまふ。

改善 注入作業1回の製品数を増やせるよう改善(プレス材の追加)を行い、1日平均10回だった作業を最大で4回に削減。

1日の生産枚数平均200~240パネル

※前組生産能力 通常ウレタンパネル(ドア) 1H40パネル=6H 240P

投入可能枚数42~60パネル 1日平均4~5回の注入 1回の注入サイクルタイム=60分~90分とする



改善効果 改善前と比較して、1~2時間の作業時間の短縮。

・作業者の手待ち時間を削除し、作業終了後に他工程への応援に活用。  
応援1時間(3600秒)\*22日\*12ヶ月=950,400秒/年 応援時間の捻出

・ホットプレス機の灯油及び注入機洗浄液の削減。

灯油使用量 1日平均50ℓ→47ℓ 1ℓ=115円→82,800円/年 削減

洗浄液使用量 1日平均750mg→最大300mg 1ℓ=245円→29,106円/年 削減

### 77期エコアクション活動結果

各項目によって目標未達もあったが、鉄くず排出量(端材・他)は前年度比から95%に対し-14ポイント、

灯油使用量(ボイラー・暖房)は前年度比から95%に対し-10ポイントも削減出来た。

今回の成果の主な要因として上記改善のみならず、各4工程による多数の改善があつてこそその成果と思われる。

## 7 環境活動実績

	管理実施項目	単位	2023年度 全社実績			本社実績		豊橋実績		仙台実績			
			(2022 10~2023 09)			月平均	前年比	月平均	前年比	月平均	前年比	月平均	前年比
			年間	月平均	前年比								
二酸化炭素 排出量	電力使用量	kWh	251,760	20,980	99%	2,500	102%	8,270	92%	10,210	104%		
	軽油使用量	L	9,024	752	83%	663	84%	89	77%	/			
	ガソリン使用量	L	7,668	639	109%	527	112%	109	97%	3	54%		
	灯油使用量	L	13,560	1,130	85%	/		16(6ヶ月)	33%	1,122	85%		
	ガス使用量	m <sup>3</sup>	48	4	100%	4	100%	/		/			
	二酸化炭素 排出量計	kg-CO <sub>2</sub>	161,148	13,429	94%	3,956	96%	3,262	90%	6,211	95%		
水使用量	水使用量	m <sup>3</sup>	732	61	100%	10	119%	28	83%	23	120%		
廃棄物排出量	廃棄物 排出量	kg	9,372	781	96%	71	122%	422	96%	288	90%		
	鉄くず排出量	kg	123,108	10,259	83%	/		4,558	83%	5,701	82%		
	(ウレタンパネル 排出量) 【仙台工場のみ】	kg	8,232	686	188%	/		/		686	188%		
	段ボール排出量	kg	3,564	297	100%	17	88%	49	91%	231	98%		
化学物質貯蔵量管理 (仙台工場のみ)	適正貯蔵量	L	6,000未満 管理良好			/		/		6,000未満 管理良好			

エコ改善関連	エコ改善関連 採用件数	実績名称	実施時期	実績	備考
		・本社 社用車エコカーへ更新、増車	2022 11	・二酸化炭素排出量削減	
・豊橋 スリットコイル見直しによる歩留り向上鉄くず量削減	2023 03	・廃棄物排出量削減			
・仙台 ラミネート材見直しによる歩留り向上鉄くず量削減	2023 03	・廃棄物排出量削減			

※温室効果ガス排出係数(環境情報データベース)2018年度調整後排出係数:0.406(本社)・0.334(豊橋)・0.334kg-CO<sub>2</sub>/kWh(仙台)

# 8-1 環境経営計画の取組結果とその評価(本社)

- ・全社の 年度環境経営計画(取組事項)
- ・取組結果とその評価
- ・次年度の取組重点事項

文書類作成日: 2023年04月28日		
文書類作成日: 2023年10月23日		
承認	確認	作成
部門最高責任者	環境管理責任者	

本社管理責任者記入

※化石燃料: ガソリン・軽油・灯油・ガス使用量計

環境目標	取組結果及び評価	取組結果及び評価		
		進捗	進捗	
二酸化炭素排出量抑制	購入電力使用量	<ul style="list-style-type: none"> <li>①未使用時の照明消灯の徹底 デマンド監視装置の管理</li> <li>②空調温度管理(暖房:24℃ 冷房28℃)</li> <li>③機械・倉庫を離れる時は必ず動力モーター・照明OFF</li> <li>④就業時プレーカーをOFFにしても支障ない設備は切る</li> <li>⑤空調機器の簡易点検</li> </ul>	<p>目標:98%→92%(前年売比:86%)</p> <p>在宅率も減少したが、対前年比いずれも良好。</p> <p>下期以降は、エアコン使用について注視していく。</p>	<p>下期:117%(前売比:106.2%)</p> <p>通期:102%(前売比:95.7%)</p> <p>酷暑という環境下、A/C等の使用状況を管理するも目標値達成できず</p>
	化石燃料使用量	<ul style="list-style-type: none"> <li>①社用車の私用・帰宅などで使わない&amp;エコ運転推進</li> <li>②昼休み出来るだけ食堂などを使用して器具の単独使用を避ける</li> <li>③湯沸かし器は出来るだけ10~4月使用&amp;電気給湯類使用促進</li> </ul>	<p>【GS使用量】目標:100%→104%(前年売比:97%)</p> <p>特に3月は平均気温が上がったが、在宅率も減少した事もあり、前年比で 175% となる。その他は概ね良好。</p>	<p>【GS使用量】下期:95%(前年売比:89%)</p> <p>通期:100%(前売比:93%)</p> <p>目標値達成。給湯器使用率をもう少し抑制可能を希望</p>
	水使用量抑制	<ul style="list-style-type: none"> <li>①手洗い、食器洗い時 水を出しっ放しにしない</li> <li>②水漏れを発見したら所属長へ連絡~修理手配</li> <li>③漏水パトロール実施</li> </ul>	<p>目標:100%→123%(前年売比:113%)</p> <p>在宅率も減少した事もあり、増加傾向。</p> <p>下期経過を觀察し、適時対応。</p>	<p>下期:116%(前売比:110%)</p> <p>通期:119%(前売比:112%)</p> <p>上期より若干減少したものの、通期で増加傾向</p>
	廃棄物の抑制	<ul style="list-style-type: none"> <li>①分別の維持(表示が剥がれたり・紛失時再表示)・推進(分別チェック)</li> <li>②不具合集計・統計を取り削減活動を月次で行う</li> <li>③納入パレット・容器のリサイクル化を推進する</li> <li>④廃棄物保管場所がいっぱいになったら処分する</li> </ul>	<p>目標:90%→148%(前年売比:137%)※一般廃棄物</p> <p>在宅率も減少した事もあり、大きく増加傾向。</p> <p>原因特定の下 下期経過を觀察し、適時対応。</p>	<p>下期:102%(前売比:97%)※一般廃棄物</p> <p>通期:122%(前売比:114%)※一般廃棄物</p> <p>上期より、継続して増加傾向</p> <p>原因特定もされず、目標値を上回ってしまった</p>
	省資源(グリーン購入含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①作業指示書・両面コピー紙の回収~分別処理を行う</li> <li>②資料枚数の削減 白黒再生紙コピー&amp;プロジェクター推進</li> </ul>	<p>社内資料の裏紙再利用&amp;ペーパーレス推進も概ね良好。継続して活動。</p>	<p>社内資料の配布物は、電子化を進めたこともあり良好と判断</p>

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

異常気象(記録的酷暑など)という中で、特にエアコンの使用方法には 各自節電への配慮はなされていたと思う。

次年度は 単純な節電配慮だけではなく、工夫した活動を模索し 活動継続を試みたい。

営業強化に伴い、車両台数は 増えたものの エコカー導入効果もあり、ガソリン使用量としては 目標値を大きくクリア出来たと認識。

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】	<p>使用量の結果管理だけではなく、&lt;どのタイミング&gt;でどのように使用されているか&gt;の分析を行う必要が求められる。</p>
---	--

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

目標未達項目内で 一番の増加傾向の為、重点課題として認識し、次年度 低減活動を取り組んでいく。

廃棄物分析も改めて、実施する。

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】	<p>本テーマは、良好の為 継続して活動する。</p>
---	-----------------------------

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

本テーマは、良好の為 継続して活動する。

社外向け(顧客)への提案を増加させる活動を周知させたい。

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】	<p>本テーマは、良好の為 継続して活動する。</p> <p>社内向けを主とした「再利用化」を浸透し、良好。</p> <p>顧客向けへの活動を増やしたい。</p>
---	---

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

本テーマは、良好の為 継続して活動する。

活動としては、概ね良好。

下期は、提案件数UPを推進していく。

活動としては、概ね良好。

提案件数UPに関しては、浸透不足

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】	<p>本テーマは、良好の為 継続して活動する。</p> <p>本社での提案を増加させる活動を周知させたい。</p>
---	---

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

環境管理部門最高責任者のコメント・総評・次年度へ向けて	<p>環境に対する考え方や 活動としては 定着してきているが&lt;廃棄物抑制&gt;と&lt;水使用量&gt;に関してテーマを絞り、次年度は活動を強化していきたいと考えます。</p> <p>それには、現状分析 等による効果的な活動が継続できるようにルール化を図りたい。</p>
-----------------------------	---

是正・予防処置等処理記録簿	-	該当事項なし	-	該当事項なし
---------------	---	--------	---	--------

環境管理部門最高責任者のコメント・総評・次年度へ向けて	<p>環境に対する考え方や 活動としては 定着してきているが&lt;廃棄物抑制&gt;と&lt;水使用量&gt;に関してテーマを絞り、次年度は活動を強化していきたいと考えます。</p> <p>それには、現状分析 等による効果的な活動が継続できるようにルール化を図りたい。</p>
-----------------------------	---

※進捗の評価:○良好・△一部未達・×未達

## 8-2 環境経営計画の取組結果とその評価(豊橋)

- ・全社の 年度環境経営計画(取組事項)
- ・取組結果とその評価
- ・次年度の取組重点事項

豊橋管理責任者記入

文書類作成日: 2023年04月14日		
文書類作成日: 2023年10月18日		
承認	確認	作成
部門最高責任者	環境管理責任者	環境管理責任者
		

※化石燃料: ガソリン・軽油・灯油・ガス使用量計

環境目標	施策	取組結果及び評価			
		進捗	上期 10~3月	進捗	下期/通期 ~9月
二酸化炭素排出量抑制	購入電力使用量	○	目標105%→前年度比:90%(前年売上比:99%) 残業抑制、および未使用時の電源OFF、デマンド監視等の左記施策実施により半期目標達成。	○	目標105%→前年度比:92%(前年売上比:115%) 上期に引き続き左記施策実施で、昨年度比では92%だったが、急激な売上減には追従しきれず。 (前年度比:達成、売上比:未達で△評価)
	化石燃料使用量	△	目標106%→前年度比:99%(前年売上比:109%) 本社応援人員の社有車使用による増はあるが、全体的にはフォークリフト使用頻度減で、ほぼ前年同程度に収まる。	○	目標106%→前年度比:82%(前年売上比:115%) 下期は左記要因はなくなり、前年度比では達成も、急激な売上減には追従しきれず。 (前年度比:達成、売上比:未達で△評価)

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

通期で概ね目標達成できたが、本営業の教育を兼ねた工場応援で社用車を通勤に使用した為、ガソリン購入が増加した。

現在使用停止中

水使用量抑制	水使用量	○	目標1%→前年度比:92%(前年売上比:100%) 漏水/パトロールにより漏水感知、修理により水使用量前年度より8%抑制。	○	目標1%→前年度比:83%(前年売上比:101%) 漏水/パトロールにより5月にも漏水感知、修理実施。水使用量前年度比17%抑制。
--------	------	---	--	---	--

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

漏水修繕もあり目標達成。今後も管理を継続できる体質にする。

廃棄物の抑制	産業廃棄物排出量	○	目標105%→前年度比:100%(前年売上比:112%) 左記施策継続実施中。 一般廃棄物の製品輸送/パレットの重さで容積圧縮も例年通り行い、排出量増抑制。	○	目標105%→前年度比:83%(前年売上比:101%) 左記施策を通期で継続実施し、昨年度比で大幅削減。売上比でも目標達成 一般廃棄物の圧縮も継続実施して排出量増抑制し、前年度比4%削減。
--------	----------	---	--	---	--

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

不良削減効果で達成できた。今後は品種が変わるので初品チェックを含め、不良を出さない事に拘って行く。

省資源 (グリーン購入含む)	①作業指示書・両面コピー紙の回収~分別処理を行う ②資料枚数の削減 白黒再生紙コピー&プロジェクター推進	○	裏紙使用、および会議資料配布をやめ、プロジェクター使用を推進。	○	左記継続実施
-------------------	---	---	---------------------------------	---	--------

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

目標は達成できたが、ペーパーレス化はまだまだ出来ていない。改善して行く。

環境配慮型製品・ 資材省梱包・リユース 品採用推進	新商品開発時・材料見直し時積極的に検討する 梱包資材のリユース化推進	○	緩衝材としてのダンボール再利用継続 昨期中から断熱材通い箱化を実施。	○	左記継続実施
---------------------------------	---------------------------------------	---	---------------------------------------	---	--------

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

今期は目標達成出来た。今後はお客様への省梱包含め改善&提案を進める。

エコ関連改善 (業務・IS・提案より)	活動状況 改善後の継続状況等 改善提案状況	○	主に歩留り改善をテーマに活動中。3ヶ月に1回報告会開催、および昨期に続いて改善提案の継続提出継続中	○	左記継続実施
------------------------	-----------------------------	---	---	---	--------

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

定期的な打合せ・改善策は出来ているので、PDCAが回り続けるルールを構築する。

是正・予防処置等処理記録簿	-	該当事項なし	-	該当事項なし
---------------	---	--------	---	--------

環境管理部門最高責任者のコメント・総評・次年度へ向けて	今期前半は物量と人員のバランスが崩れた事から、本営業新人教育も兼ねて北村正人を応援させた。 この時、通勤手段として社用車使用を認めた。これを起因として社用車燃料購入が予定をオーバーした。 後半は顧客の仕様変更・販売数低下もあり仕事量が急激に低下した。 夏場の酷暑対策、安全衛生への対応から、冷房設備をフル稼働させたが、仕事量低下が大きく影響し目標をオーバーした。 来期は顧客仕様変更により新規仕事が増える為、安全・品質を重要課題として取組、働く仲間と連携を深め情報共有し、目標達成に向けて進んで行く。
-----------------------------	--

※進捗の評価: ○良好・△一部未達・×未達

## 8-3 環境経営計画の取組結果とその評価(仙台)

- ・全社の 年度環境経営計画(取組事項)
- ・取組結果とその評価
- ・次年度の取組重点事項

仙台管理責任者記入

文書類作成日: 2023年04月20日		
文書類作成日: 2023年10月23日		
承認	確認	作成
部門最高責任者	環境管理責任者	環境管理責任者
		

※化石燃料・ガンリン・軽油・灯油・ガス使用量計

環境目標		取組結果及び評価			
		進捗	上期 10~3月	進捗	下期/通期 ~9月
二酸化炭素排出量抑制	購入電力使用量	×	①未使用時の照明消灯の徹底 デマンド監視装置の管理 ②空調温度管理(暖房:24℃ 冷房28℃) ③機械・倉庫を離れる時は必ず動力モーター・照明OFF ④就業時プレーカーをOFFにしても支障ない設備は切る ⑤空調機器の簡易点検	×	①~⑤迄継続し設備修理などを行い、使用しない時は電源OFFを徹底したが、結果104%で未達。 要因は異常気象と思われる温度上昇に伴い、冷風機の・扇風機のフル稼働等々の要因が考えられる。
	化石燃料使用量	○	①社用車の私用・帰宅などで使わない&エコ運転推進 ②昼休み出来るだけ食堂などを使用して器具の単独使用を避ける ③湯沸かし器は出来るだけ10~4月使用&電気給湯類使用促進	○	①~③を継続し、目標値95%対し85%で達成。

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】  
 今期の冬季時期にハニカム製品生産が続き、加熱する設備を使用した事と、夏季の異常な暑さでの扇風機と冷風機のフル稼働などで、購入電力の節約活動を行ったが予想以上に使用し、未達成になってしまった。  
 化石燃料使用量の方は、改善活動を行い使用を控え目標達成が出来た。  
 来期は生産量が今期より増加する予定なので、電気使用量・化石燃料使用量が増加する見込みですが、極力使用量を削減して行く様に努めます。

水使用量抑制	水使用量	×	①手洗い、食器洗い時 水を出しっ放しにしない ②水漏れを発見したら所属長へ連絡~修理手配 ③漏水パトロール実施	×	①②③継続中 目標95%に対し141%大きく未達 しかし漏水復旧工完了(1月)で使用量は戻る見込み
--------	------	---	---	---	---

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】  
 水使用量は工場外部の地下配管での老朽化と過去の地震による配管連結部分の破損等で漏水し目標を大きくオーバーしてしまっした。  
 漏水箇所調査で3箇所での漏水を発見したが、1箇所ずつ調査修理になり時間が長期で掛かった。  
 来期は、毎月の使用量を注意して確認し、以上使用量があれば直ぐに対処して行きたい。 生産量の増加予定があるので今期より使用量は上がるとは思いますが、節水を各自心がけて行く様に努めます。

廃棄物の抑制	産業廃棄物排出量	○	①分別の維持(表示が剥がれたり・紛失時再表示)・推進(分別チェック) ②不具合集計・統計を取り削減活動を月次で行う ③納入パレット・容器のリサイクル化を推進する ④廃棄物保管場所がいっぱいになったら処分する	△	・ウレタンパネル188%未達 ・鉄端材81%達成。 ・鉄不良116%未達成。 ・産廃90%達成 ・ダンボール類 98%で未達 ※エネボックスがスタートしたことで不良が多発 ※注入機故障の為不良が多発
--------	----------	---	--	---	---

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】  
 今期は重量の重い製品の材料不良と社内加工不良が多かった為に、鉄不良が目標に届かなかった。  
 来期はやはり社内不良削減と重量の重い製品の不良削減・歩留まり削減をして行きたい。

省資源 (グリーン購入含む)	①作業指示書・両面コピー紙の回収~分別処理を行う ②資料枚数の削減 白黒再生紙コピー&プロジェクター推進	○	①継続中 ②継続中	○	①継続中 ②継続中
-------------------	---	---	--------------	---	--------------

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】  
 省資源 (グリーン購入含む)では紙などを極力使用しないで、パソコンを利用した作業を進め、会議等ではプロジェクターを使用して行い良好でした。  
 来期も紙使用を減らし、又 紙の両面使用などをしていきたい。

環境配慮型製品・資材省梱包・リユース品採用推進	①新商品開発時・材料見直し時積極的に検討する ②梱包資材のリユース化推進	-	①新商品開発時に廃棄物を削減出来る様に技術部に提案実施。	○	①梱包用角当てダンボールの寸法改善 現行品310mm⇒240mmに変更。70mmマイナスし、使用量の削減
-------------------------	---	---	------------------------------	---	---

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】  
 資源省梱包の改善を実施して、経費節約と資源節約に繋がった。  
 来期も梱包資源節約を考え資源省梱包を進めて行きたい。

エコ関連改善 (業務・IS・提案より)	①活動状況 ②改善後の継続状況等 ③改善提案状況	○	IS活動発表会継続中。 <活動状況> ・改善後の継続はOK ・社内改善提案16件	○	IS活動最終発表会10/27開催予定 改善提案状況は改善提案は出ているが以前より減っている。
------------------------	--------------------------------	---	---	---	---

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】  
 4半期で実施しているIS活動は予定通り実施できた。 個人改善提案が一部の人員での提出になって来ている。  
 来期もIS活動は継続し、個人改善は幅広い作業者に提出してもらう様に声がけを定期的に行う。

是正・予防処置等処理記録簿	-	該当事項なし	-	該当事項なし
---------------	---	--------	---	--------

環境管理部門最高責任者のコメント・総評・次年度へ向けて  
 今期未達成だった電力使用量では、上期生産時に加熱を必要とするハニカム製品注文が続き、気温が寒い時期に加熱電気使用量は増加し、又 暖房電気使用も重なり結果上期108%となったと思われる。下期は加熱製品注文が減り、加熱電気を多少使用したものの、夏の異常上昇でのエアコン・冷風機・扇風機などの使用量が増え、下期101%で通期で104%となった。  
 水使用量では上期10月~12月の月当たりの使用量を確認した結果、月を増す事に使用量が増加しているの、業者に依頼し漏水調査をした結果工場外のアスファルト下の配管の継ぎ部分の経年金属劣化での破損部から漏水を発見し、直ちに修理実施をしたが、翌月にまた水使用量があまり下がらず、再度調査した結果工場外の散水栓の部品劣化で漏水を発見、翌月のから通常に戻ったが、上期は142%となり下期は夏場の異常気温上昇での冷風機フル稼働で水使用が増えたが、何とか100%に達したが結果通期で120%となってしまった。  
 産廃ではウレタン製品の処分量が多く180%、お客様の寸法変更などで戻ってきた分が大半を占めていた、鉄くず(不良)では116%とエネボックス使用の材料不良要因が大半を占めていた。  
 来期は今期の未達成項目を達成出来るよう努めて行く。

※進捗の評価: ○良好・△一部未達・×未達



## 9 環境関連法規への違反・訴訟の有無

### (1) 適用される主な環境関連法規等

主な適用法規	要求事項	遵守状況
消防法	危険物の保管基準遵守、消防設備点検、避難訓練	遵守
自治体火災予防条例		
労働安全衛生法	健康診断受診推進、各技能講習受審推進、法定自主点検遵守	遵守
労働施策総合推進法	職場における「パワーハラスメント」	遵守
有規則・特化則	作業主任者選任、作業環境測定、掲示、特殊健康診断、記録保管、漏えい防止の管理	遵守
廃棄物処理法	廃棄物の保管基準、委託基準の厳守、マニフェストの適正運用管理	遵守
廃棄物地域条例	廃棄物管理者責任者の設置、委託先の処分能力状況確認、性状の確認、確認記録の保持	遵守
下水道法	排除基準の遵守	遵守
フロン排出抑制法	冷媒の適正管理、簡易点検（7.5kw以下）廃棄時管理	遵守
PRTR法	排出・移動量の管理遵守	遵守
家電リサイクル法	廃棄時の適生な引渡し	遵守
小型家電リサイクル法	分別して認定業者へ適正な引渡し	遵守
自動車リサイクル法	廃棄車両の引取業者へ適正な引渡し	遵守
道路交通法	運転管理者設置、運転日報、アルコールチェック、記録の保持	遵守

### (2) 違反・訴訟の有無

当事業所に適応される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありません。尚、関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありません。

## 10 代表者による全体の評価と見直し・指示

今期は、コロナが収まり売り上げを伸ばしたかったが、資材費の高騰もあり思ったように売り上げが伸びず、また鉄やその他資材の値上げの転嫁も遅れて、非常に厳しい状況だったが、特に後半、昨年目標としていた、SDGsの目標12のつくる責任・つかう責任に焦点を当てて、エコ対応と経費節減を連動させて、電力、ガソリン、ガス、水道、段ボール、一般廃棄物、CO2排出量にこだわって、地球の環境と人々の健康を守るように責任ある行動を会社として取って来たことで、地球環境にも優しく、当社としての利益率も上げる努力ができたと思う。

来期についても、引き続き、製造会社としてSDGsの目標12のつくる責任に焦点を当てて、地球環境への配慮と、会社としての利益をバランスよく事業展開していければと思っています。その意味でも、引き続き、社員全員に対して、SDGsの基本コンセプトを徹底して、工場も、本社もしっかりと対応していきたいと思っています。

2023年10月27日  
 辻 鐵鋼株式会社  
 代表取締役社長 辻 博正